

ふれあいの居場所『おたっしゃ会』

【実施主体の概要】

おたっしゃ会は高齢者が住み慣れた地域社会で孤立することなく、安心して暮らし続けることを目的に平成12年度より始まり、現在、介護保険法の地域支援事業の介護予防活動として継続しています。

65歳以上の高齢者を対象に実施する閉じこもり防止のための交流事業、または生きがいづくりなどの介護予防事業を行う団体で、原則10人以上をもって組織し、月1回以上活動する団体を位置づけし支援を行っています。

地区の公会堂や福祉センターに月1～2回集まり、住んでいる地域の身近なボランティアや高齢者同士がお茶飲みや趣味活動を通して交流しています。

近所に住んでいてもなかなか顔を合わせる機会がなかった人も、おたっしゃ会の集まりを通して定期的に交流することができ、「おたっしゃ会が何より楽しみ。」と感じている高齢者も多く、ボランティアも「いずれは自分も高齢者の立場になる。」という思いから地域貢献として積極的に活動を行っています。

【当該サービスを始めた経緯、背景】

はじめは、近所のお茶のみをしていた仲間の集まりがきっかけとなり、昔からある軒先でお茶のみをする風習の再開を期待し、閉じこもり防止、地域間交流、介護予防さらには健康長寿の延伸を目的に、町より各行政区に呼びかけを行いました。

町の保健師が中心となり、趣旨に賛同し、開催を希望した地区には、区長や民生委員をはじめとする地区役員や住民を対象に説明会を行い、チラシを回覧し参加者を募るなど地域と協力して開催を支援しました。

名前の由来は「いつまでもおたっしゃ（元気）でいられるように」という願いを込めて命名されました。

現在26行政区あるうちの22か所で開催され、現在実施されていない地区においては包括支援センター主催で高齢者出前介護予防教室を実施し、おたっしゃ会の開催に移行するように働きかけを行っています。

【当該サービスの概要】

- ・開催地区 21か所
- ・開催回数 月1から2回、午前のみ or 午後のみ or 1日開催
- ・開催場所 各地区公会堂や多世代サポートセンターにこここ甘楽
- ・内 容 保健師による血圧測定などの健康相談、健康講話や体操、レクリエーション、ボランティアや有志による趣味活動や演芸鑑賞、新年会や忘年会などの会食、小旅行 など
- ・参加者数 ボランティアを含み5～30名と地域により多様、平均10名程度
- ・助成金の支給 参加人数および開催回数に応じて 年額1～6万円
- ・今後の展望 全行政区で開催ができるよう地区役員に町より働きかけを行う。地域包括支援センター主催による出前教室の開催、区長や民生委員への働きかけ。
- ・今後の課題 参加者の高齢化による減少、新たな参加者が増えない、男性参加者が少ないなど全地区に共通する課題に対応するために、代表者やボランティアと話し合い以下のことを実施しています。
 - 高齢者が過ごしやすいように椅子や机などの環境整備を行う。
 - 活動保険に加入し、安心して参加できるようにする。
 - 全地区の代表者やボランティアが集まり、定期的に交流会を行って情報交換をする。
 - 地区おたっしや会同士の交流会の開催。



地区の公会堂に押し車で歩いて集まり、午後のひと時を楽しく過ごします！



おたっしや会のテーマ曲に合わせて健康体操！！

問い合わせ先 こここ甘楽 健康課 地域包括支援センター
住所： 群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉1395-1
TEL： 0274-67-5182